

鬼北町 愛治地区

～愛治ちんどんクラブと耕作放棄地等を活用したそば作り～

● 集落の概要

愛治地区は鬼北町の中でも、高齢化率が44.9%と高齢化の顕著な地区であり、また、農業者の高齢化や後継者不足により耕作放棄地も増加傾向にあります。

しかし、高齢者が中心になって、「愛治ちんどんクラブ」の結成や、耕作放棄地や田の裏作を利用した「そば栽培」「そば打ち体験」等、高齢者の生きがいをづくりと地域活性化のための取り組みが盛んな地区です。



愛治ちんどんクラブ

● 集落の活動内容

① 取り組み内容

平成8年ばけ防止、生きがいをづくりを目的に「愛治ちんどんクラブ」を結成、以来16年間、地域のイベントへの参加や福祉施設の訪問などを続けています。

また、平成23年老人クラブ「愛生会」で、「そば栽培、加工、研究グループ」を立ち上げ、耕作放棄地等を利用し、「作る楽しみ」「製麺の面白さ」「食べる喜び」を感じることができる素晴らしい試みに挑戦しています。



練習風景

② 成果

愛治ちんどんクラブは平均年齢70歳の高齢者集団であるが、月2回～3回の公演をしており、地域の活性化と会員の健康づくりに寄与しています。「そば栽培」では、昨年の20aから今年50aに栽培を増やし、そば打ち体験を実施するなど、地区外の人との交流も活発になっています。



「愛生会」のそば畑

③ 課題

今後はそばの栽培面積を増やし、そば栽培を老人クラブ以外にも広げる必要があります。

④ 今後のビジョン、目標

ちんどんクラブは後継者も増えており、今後も演奏のレベルアップに努めます。また、そばは町内のそば屋さんで「限定鬼北そば」として売り出す予定です。

● 活動主体

愛治ちんどんクラブと生田老人クラブ「愛生会」

【PRコメント】

鬼北熟成きじからとった出汁で食べる「きじソバ」はいかがですか。